HPVワクチンの公費接種
高校1年相当が最終年度
小学6年～高校1年生相当の女の子が対象

高校1年相当（今年4月1日時点で15歳）の女の子と保護者の方へ

公費による HPVワクチンの接種は 今年度末（来年の3月末）までです

子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。
毎年1万人以上の女性が子宮頸がんにかかり、
毎年3,000人以上の女性が子宮頸がんで亡くなっています。

小学校6年 ～ 高校1年相当の女の子を対象に

子宮頸がん予防のための HPVワクチンの公費による接種を提供しています。

高校1年相当（今年4月1日時点で15歳）の女の子は、
公費による接種期間の最終年度にあたります。

接種は**合計3回**で、完了するまでに約6か月かかるため、接種を希望する方は、
今年の9月までに接種を開始することをご検討ください。

HPVワクチン接種について
もっと詳しく知りたい方はこちら
厚生労働省ホームページ
厚労省 HPV 検索

HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら

対象の方には、お住まいの市町村から接種券が届いています。
お手元にない場合は、再発行も可能ですので、市町村にお問い合わせください。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare